

水稲用除草剤のドローン散布における自己拡散型浮遊粒剤FGの活用 (株)ヤマダ製作所 農業事業部 深耕ファーム(岐阜県羽島市) 協友アグリ(株) (株)東海近畿クボタ

導入経緯

<目的> ドローンによる水稲用防除剤の散布効率の向上。
<背景> 従来の1キロ粒剤は均一な散布が必要だが、圃場際から撒いていたため、中心に撒くことが困難だった。

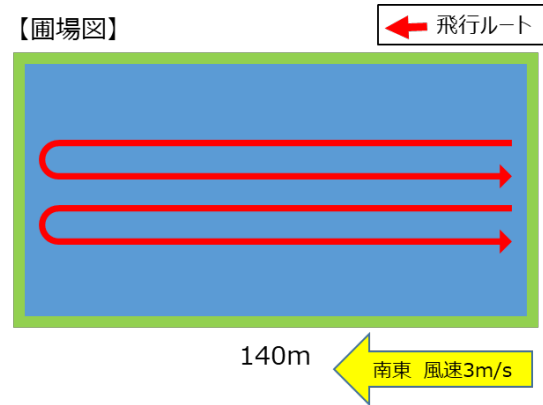
取組概要

- 19/4/23に播種。19/6/14に自己拡散型浮遊粒剤のバッチリ400FG (Floating Granule) (400g/10a) をドローンにより散布。
- FG剤の自己拡散性により、均一散布が不要であるため、圃場中央部にのみ散布。

開始時期	2019年
対象作物	水稲「ほしじるし」(移植・乾田直播) (70a)
導入機体	クボタ MG-1 SAK 吐出設定：シャッター開度100%、インペラ回転数1,300rpm 散布時間：190秒/2往復(総飛行時間290秒)v

導入メリット

- 剤が軽量なため、バッテリー消費を節電できた。
- 圃場中央部のみ飛行すること、薬剤が自己拡散するため散布量を調整する必要が無く、シャッター開度を100%開いて散布できることにより、1キロ粒剤と比較して散布時間が短縮できた。
- 圃場際への散布が不要のため、突風時などのドリフトリスクが軽減できた。



散布の様子



バッチリ400FG